

HAMAGUCHI YOZO

SPRING EXHIBITION

浜口陽三展

赤と黒・色彩の引力

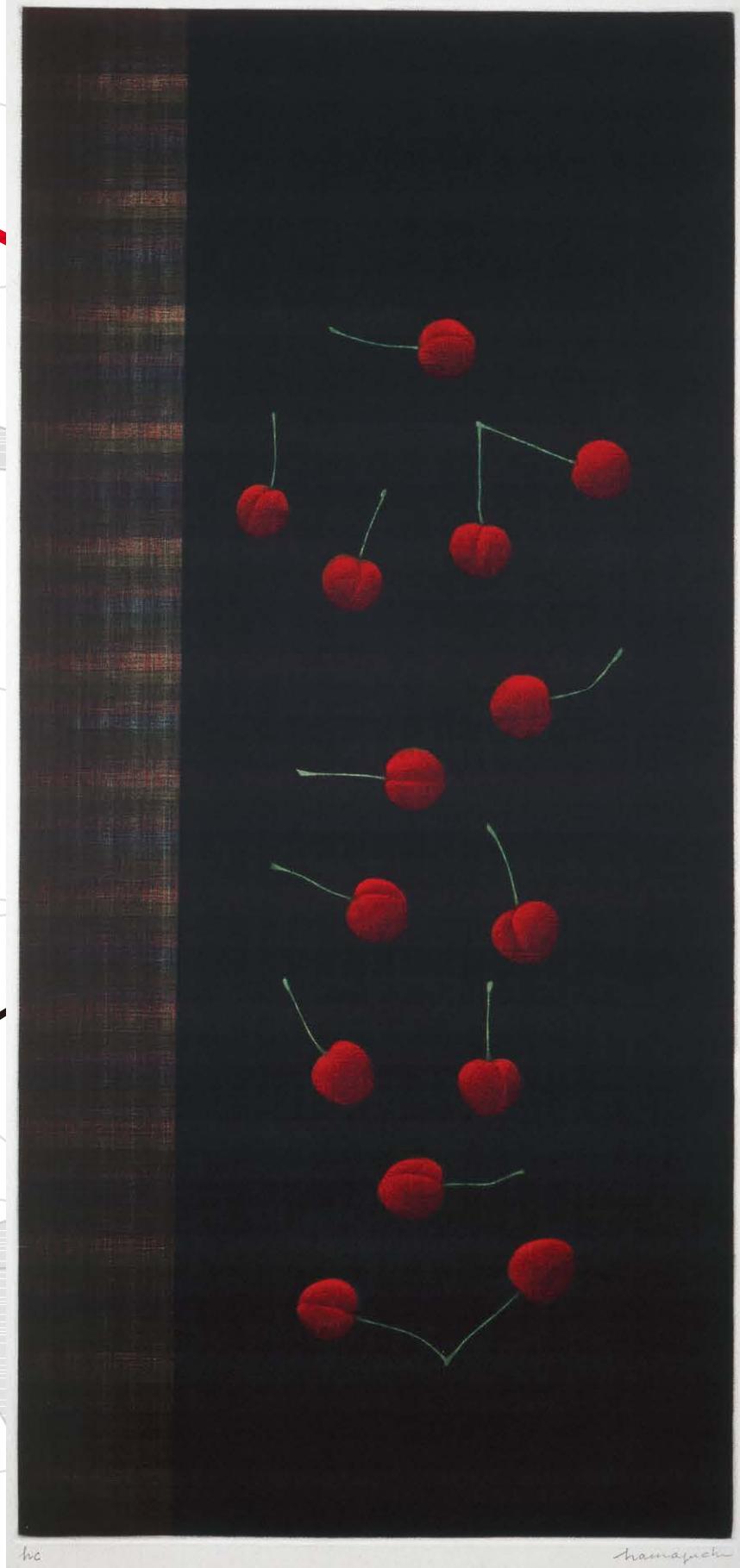
【会期】2016年2月7日(日)ー5月8日(日)

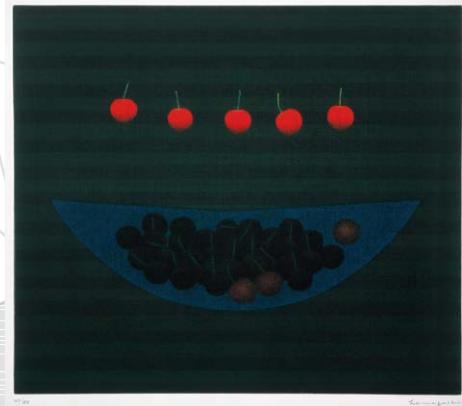
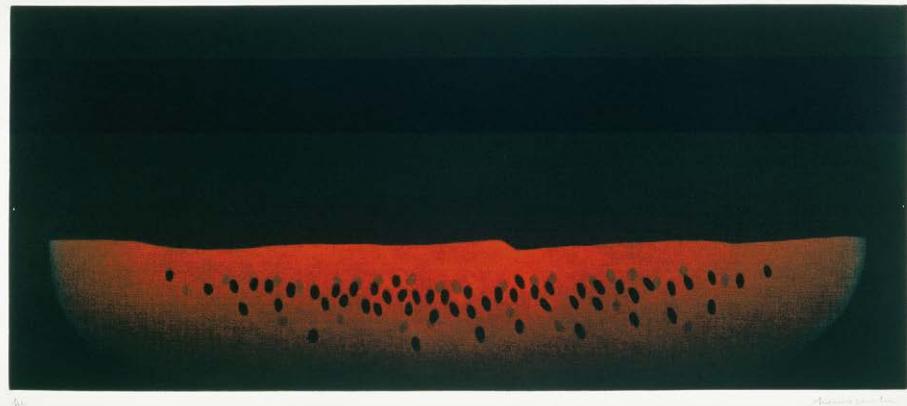
休館日 月曜日(ただし3月21日(祝)、5月2日は除く)、3月22日(火)、
2月23日(火)(臨時休館)

開館時間 11時～17時(土日祝10時～17時 最終入館16時半)

《ナイトミュージアム/会期中第一・二・三・金曜*20時まで開館/最終入館19時半》
入館料 大人600円/大学生・高校生400円/中学生以下無料

*第1・3金曜:2月19日、3月4日、3月18日、4月1日、4月15日、5月6日の六日間
※3月27日(日)は体験教室のため、階会場が鑑賞しにくくなります。



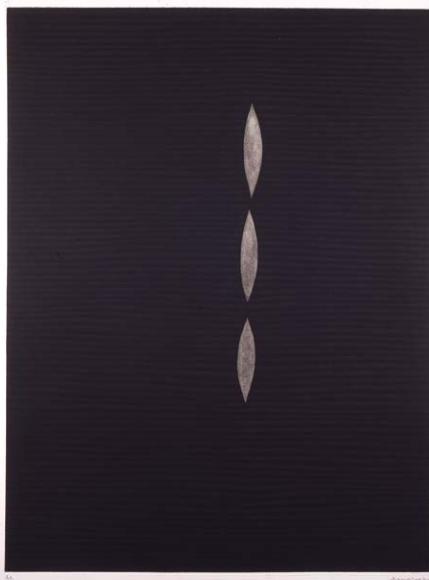


浜口陽三(1909-2000)は20世紀を代表する銅版画家の一人です。戦後、本格的に銅版画に取り組み、独学でメゾチント技法を探求していきます。そして、フランス語ではマニエル・ノワールと呼ばれ「黒の技法」を意味するこの技法に豊かな色彩を取り入れた、唯一無二の作家です。

「14のさくらんぼ」(1966年)は、暗い背景に浮かぶ鮮やかな赤い色が印象的です。浜口陽三が生み出すその色は、ある時はさくらんぼ、またある時はすいかやざくろ、さらに、てんとう虫や蝶、毛糸、太陽へと自在に姿を変え、輝きを放ちます。赤は情熱的で、エネルギーのちを感じさせる色。蝶が花の蜜にさそわれるよう、私たちはその赤い色に本能的に惹きつけられてしまいます。

鮮やかな赤とは対照的に画面の大半を覆う背景の黒。作品を見る目が慣れてくると背景は単調な黒一色ではなく、濃淡があり、赤や青、緑などの色彩が含まれていることに気がつきます。黒は赤を引き立たせると同時に、赤やその他の色によって支えられています。色と色は引力のような力で影響し合い、お互いを輝かせているのです。

本展覧会では赤と黒が印象的な「14のさくらんぼ」や「西瓜」をはじめ、色彩の魅力を味わえる作品、約60点を展示いたします。複雑に重なり合いニュアンスをもった色彩を、ゆっくりと目でご堪能ください。見るほどに違った味わいが見つかることでしょう。



《表面作品》「14のさくらんぼ」 1966年 52.3×24.4cm
《裏面作品》a.「西瓜」 1981年 23.3×54.1cm
b.「さくらんぼと青い鉢」 1976年 28.0×32.3cm
c.「蝶」 1967年 11.4×11.5cm
d.「ざくろ(版画集6点組)」 1978年 11.6×11.5cm
e.「毛糸(版画集6点組)」 1978年 11.6×11.5cm
f.「3つのボブラ」 1980年 62.2×47.2cm
技法はf.=メゾチント、それ以外は全てカラーメゾチント

event1 ワークショップ「色を遊ぶ 手織の飾り布」

浜口陽三作品の構図や配色をもとに、0号サイズの木枠を使って飾り布を織りあげるワークショップです。木枠が額縁となり、そのままご自宅で飾ることができます。織の経験がない方でも参加できるやさしい内容です。

講 師—織工房URIZUN 下地 康子(染織作家)

日 時—3/7(月)【午前の回】10:30~13:00

【午後の回】14:30~17:00

定 員—各回10名 持ち物—はさみ、筆記用具

参加費—3000円(入館料・材料費込)

※小学校高学年から参加可能。(要大人同伴)

※お申込み後、開催直前のキャンセルはご遠慮ください。

※飾り布のデザインは変更となる場合があります。



申込の際、木枠の形を正方形と長方形からお選びください。

event2 銅版画・モノクロームメゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまで行い、ポストカードサイズの作品を完成させます。初めての方でも無理なく参加いただける、初心者向けの教室です。

講 師—江本 創(アーティスト)

日 時—【A】3/27(日) 【B】3/28(月) 時間はいずれも14:00~17:00(内容同じ)

参加費—入館料+1800円(材料費込) 定員—各回12名

持ち物—下絵(サイズ12×7.5cm)、汚れてもよい服装またはエプロン

※申込は初めての方優先となります。※お申込み後、開催直前のキャンセルはご遠慮ください。

event1・2 申込方法—1月21日(木)12:00より電話にて受付開始(先着順)

special 自分だけの色を見つける、ぬりえワークショップ

浜口陽三が開拓した「カラーメゾチント」の色彩効果を疑似体験することができるコーナー。赤・青・黄・黒の色鉛筆で、ハガキサイズの小さな下絵にぬりえをします。たった4色でも組み合わせ次第で表現は無限大。色が響き合う瞬間を感じてください。



日 時—開館中いつでも(最終受付16:30)

参加費—100円 ※参加者が多い場合お待ちいただくことがあります。



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-35-7

Tel | 03-3665-0251 Fax | 03-3665-0257

Mail | musee@yamasa.com HP | <http://www.yamasa.com/musee/>

アクセス | 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分

首都高速箱崎I.C [浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前

